

「白壁研究Ⅰ」（第2回）学習指導案

- 1 単元名 「コミュニケーションスキルの習得」
- 2 本時の目標
 - ・コミュニケーションに必要な能力を身に着ける。
 - ・適切な質問の仕方を学ぶ。
- 3 本時について

お互いをよく知る、もしくは類似した思考を持つ集団の集まりである学生時代とは異なり、社会に出ると様々な考え方もつ人々とコミュニケーションをとる必要がある。本校が目指すリーダーシップをもつ人材は、様々な関係者と意思疎通をとりながら業務を遂行する必要がある、最低限のコミュニケーションスキルを身に着けていることが求められる。

本授業は、円滑なコミュニケーションをとるために「話し手の目を見る、会話の途中で相槌をうつ、内容を深めるために適切な質問をする」ことが有効であることを提示し、生徒にこれらがある場合とない場合の両方のケースを体験してもらい、その重要性を認識することを目的とする。
- 4 準備・資料
 - ・時計（時間計測用）

過程	学習活動	指導内容および留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の開始 ・担当者の挨拶 ・授業目的の説明 	<p>時間前に教室に入り、始業開始のチャイムが鳴り終わったら、号令をかけさせ、開始する、</p> <p>担当者は自己紹介をする。 今日の「白壁研究Ⅰ」の担当の〇〇です・・・中略。</p> <p>「本授業では、コミュニケーションで必要な能力を実感してもらいます。年も近く、お互いをよく知る学生時代とは異なり、社会に出ると様々な考え方もつ人と協力しながら仕事をする必要があります。</p> <p>皆さんはあまり意識していないと思いますが、普段友達や家族の人とおしゃべりをするとき、どのような態度で聞いているでしょうか。実は、聞く人の態度で、コミュニケーションの取りやすさがまったく変わってきます。今日はそれを体験してもらいます。コミュニケーションで大切なのは、3つあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の目を見る ・話の途中で相槌をうつ ・内容を深めるために適切な質問をする
展 開 (1) 24分	<ul style="list-style-type: none"> ・実験1説明（3分） 「目を合わせない場合」 ・作業開始 ・時間計測（2分） ・作業終了 ・作業開始 ・時間計測（2分） ・作業終了 	<p>「はじめに、話し手の目を見ることの重要性を実感してもらいます。2人組になってください。人が足りない場合は教員が参加します。出席番号が小さい人が話し手で、もう一人が聞き手になります。後で交代します。</p> <p>聞き手の人は、話し手の目を見ず、横を向いて関係ない場所を見続けてください。ただし、話は聞いてください。その際にならずいたり、質問されても「うん」か「違う」しか答えてはいけません。</p> <p>話し手の人は、相手の顔を見ながら、テレビ、映画、音楽など何でもいいので、自分が好きなことについて2分間話し続けてください。やってみるとわかりますが、意外に心がつらいです。でも、言葉を発し続けてください。」</p> <p>「では、今から2分間始めてください」</p> <p>「やめてください」</p> <p>「どうでしたか？とてもつらくなかったですか？会話って、実は大変なんです。では、役割を交代してやってみましょう。では、今から2分間始めてください」</p> <p>「やめてください」</p>

<ul style="list-style-type: none"> • 実験2説明（3分） 「相槌をうつ場合」 • 作業開始 • 時間計測（2分） • 作業終了 • 作業開始 • 時間計測（2分） • 作業終了 • 実験3説明（3分） 「適切な質問を返す場合」 • 質問の仕方（3分） • 作業開始 • 時間計測（2分） • 作業終了 • 作業開始 • 時間計測（2分） • 作業終了 	<p>「次に、相槌を打つことの重要性を実感してもらいます。 今度は、聞き手の人は、相手の目を見て、うなづきをしてください。相手に共感できたら（うん、うん）と首を縦に振り、違うと思ったら首を横に振ってください。決してしゃべってはいけません。 話し手の人は、今度は「学校」について2分間話し続けてください。部活、勉強、好きな教科、嫌いな教科、なんでもいいです。話題を考えるのも思考力を高めるためには、大切なことです。</p> <p>「では、今から2分間始めてください」</p> <p>「やめてください」 「どうでしたか？少しは楽になりませんでしたか？では、役割を交代してやってみましょう。」 ※相手の顔を見られないところもある。研修なので、お互いの顔を見るように確認する。</p> <p>「では、今から2分間始めてください」</p> <p>「やめてください」</p> <p>「最後に、適切な質問を返すことの重要性を学びます。会話はキャッチボールです。ボールが行って、帰ってきて初めて会話が成立したといえます。一人の人が話してばかりの場合は、会話とはいえません。 聞き手は、相手の目を見て、うなづき、質問された場合は答えてください。話し手から質問を受けた場合は「私は〇〇と思いますが、どう思いますか？」など、相手の意見を聞くように返答してください。なるべく会話を続けるように心がけます。 話し手は一方的に話すだけでなく、相手の意見を確認するようにしてください。相手を会話に巻き込むことが大切です。</p> <p>ちなみに、質問の仕方にもコツがあります。会話を続ける場合は、相手がYES、NOで答える質問をしてはいけません。例えば、ごはんをどこに行こうかと相談しているとき、</p> <p>悪い例 「今日ラーメンでいいよね？」「うん」 会話が終わってしまいましたね。</p> <p>良い例 「今日なに食べたい？」「ラーメンとかどうかな？」 「それなら美味しいお店知ってるよ」「・・・」 などなど、会話が続きます。</p> <p>「では、話のテーマは最近見たおすすめ映画や、ドラマ、本の内容を相手に説明することとします。今から2分間始めてください」</p> <p>「やめてください。話し手と聞き手を交代してください。」</p> <p>「はじめてください」</p> <p>「やめてください」</p>
--	--

<p>展開 (2) 16分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ケーススタディの説明 (3分) • ポイントの補足 (3分) • 作業開始 • 時間計測 (5分) • 作業終了 • 作業開始 • 時間計測 (5分) • 作業終了 	<p>では、今日学んだことを使って実践演習してもらいましょう。会話を必死でつなげなければいけないシチュエーションを想定してテーマを設定します。同性のペアは、「会社の上司と部下がエレベータで一緒になったとき」、異性のペアは「お互いよく知らない相手と初めてのデート（お見合い）をするとき」を演じてください。</p> <p>このケーススタディのポイントは、お互いをよく知らない相手に対してどのような話のきっかけを作り、会話のキャッチボールをつなげるか、です。</p> <p>会話のきっかけを作るためには、当たり障りのない天気や、ニュースなどが好まれます。いきなり、相手の年収や、年齢、外国の人の場合は宗教などを聞こうとするのはNGです。</p> <p>例えば、 「今日は天気いいですよ。今週末まで晴れるみたいですよ。」とか、「今日のニュース見ましたか？稀勢の里勝ちましたね。」など。</p> <p>会話を盛り上げるには相手が受け取りやすいボールを返してあげることが大切です。具体的には、共感しあうことです。</p> <p>例えば、 「昨日、こんなことがあったんだよ」 「本当ですか。それは大変でしたね。」</p> <p>本音では、そう思っていなかったとしても相手の気持ちに共感することで、お互いの距離を縮めることができます。</p> <p>「では、話を戻して、皆さんにケーススタディをしてもらいます。<u>どちらかが最初の話し手になります。話し手は、部下もしくはデートに誘った方の人で、一生懸命会話をつなげるようにしてください。</u></p> <p><u>ちなみに新鮮さを出すため、会話の相手をチェンジします。</u> <u>(列ごとに生徒を移動させる) 今から5分間始めてください</u> 「やめてください。では役割を交代してください。」</p> <p>「はじめてください」</p> <p>「やめてください」</p>
<p>まとめ 3分 アンケート 記入 6分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 教師によるまとめ (3分) • アンケート記入 (6分) 	<p>「今日は、コミュニケーションに必要な能力を学びました。コミュニケーションの有名な法則に、「メラビアンの法則」があります。これは、相手からメッセージを受け取る時に</p> <ul style="list-style-type: none"> • 言語情報（内容）＝7% • 聴覚情報（話し方）＝38% • 視覚情報（見た目・ボディランゲージ）＝55% <p>の割合で内容を判断するというものです。話をするときは、内容だけでなく、目や耳から入る情報も大切だということを、実感できたのではないのでしょうか。</p> <p>今日学んだ技能は、社会に出てから役に立つだけでなく日常生活でも役に立つ能力です。ぜひ、意識しながら円滑なコミュニケーションをとるようにしてください。</p> <p>最後に、アンケートを記入して提出してください。</p>
<p>号令 1分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 礼儀正しく挨拶する。 	<p>「では授業を終わります。」（号令）</p>

「コミュニケーションスキルの習得」受講後アンケート

1年 組 番 名前： _____

以下の質問に1～4の番号で回答してください。

質 問	回 答
目をあわせることの重要性が分かった。 4：とてもそう思う、3：そう思う、2：あまり思わない、1：そう思わない	
相槌（あいづち）の重要性が分かった。 4：とてもそう思う、3：そう思う、2：あまり思わない、1：そう思わない	
適切な質問をすることの重要性が分かった。 4：とてもそう思う、3：そう思う、2：あまり思わない、1：そう思わない	
コミュニケーション相手が目を合わせなかったり、相槌などをしなかった場合、 2分間話し続けることは大変でしたか。 4：とてもそう思う、3：そう思う、2：あまり思わない、1：そう思わない	
この授業を受講して、コミュニケーションに対する意識は変わりましたか。 4：とてもそう思う、3：そう思う、2：あまり思わない、1：そう思わない	
【自由記述欄】授業に対する感想や、改善要望などあれば記述ください。	

「白堊研究Ⅰ」【Check-List】<教員用>

②コミュニケーションスキルの習得

1年()組

○を記入し、「要因」を記載する。↓

・時間通りできなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・指示がうまくいかなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・生徒が積極的に動かなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・その他の問題点		